

あずま

東つよしの

奔走西走



会館で助産師3名が妊産婦の相談や訪問を行います。保健センターでの保健師



「保育園落ちた」対策ただちに

岡山市内で1月末に保育園に落ちた子どもが1550人、うち790人が両親フルタ

イム共働き相当であることが共産党の質問で明らかになりました。

日本共産党岡山市議団は3月22日、市長に「未入园児解消へ緊急措置を求める申し入れ」を行いました。幼稚園の空き部屋活用など、あらゆる手を尽くすことを提言しています。

妊産婦相談支援、公共交通で質問

東市議は本会議質問で妊産婦相談支援事業、介護保険、公共交通について質問しました(介護保険については裏面)。

新年度から新たに「妊産婦相談支援事業」が始ま

市長は重大さを共有するとしつつ、「個々の状況を調べないといけない」と緊急の対応は留保する考えを示しました。

岡山市は市内120の市立幼稚園・保育園のうち、市内30の提供区域に1園を認定こども園として残す一方、残りを廃止民営化する方針です。未入园児対策に逆行しかねません。必要

による今までの相談体制からさらに充実します。東市議は、望まない妊娠などリスクの高い人への対応のため制度をPRすること、産後にお母さんが専門家の助けのもと子どもを見る産後ケアの導入を提案しました。

岡山市は「公共交通基本計画」を策定します。病院や買い物足になる生活交通についても位置づけられます。しかし個別の具

なことは、認可保育園の数を増やすことです。

保育士不足も深刻です。保育士の給料が全産業平均より10万円も安いことが原因です。国会で共産党など野党が月5万円の給与引き上げなどの処遇改善法案を共同提出しました。安倍政権の進める詰め込みや規制緩和では、まともな保育はできません。

体策づくりは、地域任せであることが質問で明らかになりました。

一方、路面電車岡山駅前乗り入れ計画は、図面が誤っていたなど、乗り入れありきのずさんさが明らかになっています。

東市議は「駅前乗り入れの時間短縮は2.7分、児島半島では1日数本しかバスがなく、病院に行つて2時間待ち。急ぐべきは周辺地域の生活交通ではないか」とただしました。

ストップ介護切り捨て 東市議の本会議質問



東市議は3月10日、2月議会の個人質問で介護保険についてただしました。

○負担増も説明するだけ

昨年8月、特養入所者の補足給付の条件が厳しくなりました。以前なら課税世帯でも世帯分離すれば補足給付を受けられる場合があったのですが、不可能にされたのです。昨年7月まで補足給付を受けていた430人中、翌8月に補足給付をうけなかった人は計320人にのぼります。

東市議は負担が月9万円も増えて貯金を取り崩している人や、負担増に耐えられず結婚49年目にして離婚した実例を挙げて対策を求めました。しかし答弁は「説明をさせていただいております」と言うだけです。

○要支援はサービス低下

来月4月から要支援1、2の方の訪問介護と通所介護が介護保険から外されて市の総合事業に移ります。これは身体介護など一部サービス以外、無資格者を使うなど緩和した基準でのサービスを行うこととなります。市から事業者に出るお金は今までより減ります。

介護労働者はただでさえ給料が安く、それゆえ深刻な人材不足です。しかし緩和したサービスをを行う事業者はさらに低賃金の人員を使わないと減益になりうると、市は答弁しました。それどころか人員基準の緩和は、人手不足

の改善につながるとい認識を示しました。資格を問わなければ低賃金でも人が来るという考え方は現場の実態を無視したものです。

○市は国の言いなり

安倍政権は参院選を乗りきればさらなる社会保障切り捨てを行うおうとしています。(介護は下表) 東市議は市が市民の代表として国に意見を言うことを求めました。しかし「市は国の意図どおり：仕事を進めておりまます」と国の冷たい政治をそのまま持ち込む答弁でした。

つひつ

娘の五十日参りで地元
の神社に行き、健康に育
つことをお祈りしまし
た。3月末に戦争法が施
行です。海外で戦争する
国に変わることとは平和の
妨げです。子どもの時代
を平和憲法が活きる日本
にすることは神頼みにし
ません。(東つよし)

今後の「社会保障改革」の工程(財務省案)

検討項目	工程
○高額介護サービス費の負担上限引き上げ	16年末までに結論、速やかに実施 検討のうえ、17年に法案提出 検討のうえ、17年に法案提出 検討のうえ、17年に法案提出 検討のうえ、17年に法案提出 できる限り早期に具体化案まとめる
○軽度者に対する生活援助を原則自己負担に	
○軽度者の福祉用具・住宅改修を原則自己負担に	
○要介護1・2への通所介護を地域支援事業に	
○65～74歳の利用料負担を原則2割に	
○75歳以上の利用料負担を原則2割に	

《東つよしニュースのバックナンバーはブログ <http://t-azuma.seesaa.net/> でご覧いただけます》